

## 平成27年度第2回 阿波市総合教育会議 会議録

### (1)会議 開催日

平成27年11月17日(火)

阿波市役所 3階 大会議室

午後1時30分から午後4時まで

### (2)出席委員の氏名

市 長	野崎 國勝
教 育 長 (委員)	坂東 英司
委 員 長	重清 由充
委 員	安田 佳子
委 員	森 勝正
委 員	庄野 憲二

### (3)委員を除く、議場に出席した人の氏名

阿波市議会 文教厚生常任委員会	
委員長	香西 和好
副市長	藤井 正助
市民部長	瀬尾 勇雄
健康福祉部長	高島 輝人
建設部長	友行 義博
教育次長	吉田 一夫
教育次長	高田 稔
教育総務課課長	矢田 正和
企画総務部長	町田 寿人
企画総務部次長	後藤 啓
企画総務課主幹	坂東 明
企画総務課係長	藤岡 知寛

### (4)傍聴人

傍聴人 0名

<p>市長</p>	<p>本日は、「平成 27 年度 第 2 回阿波市総合教育会議」を開催いたしましたところ、教育委員の皆様には、お忙しい中ご出席を賜り、誠にありがとうございます。</p> <p>また、平素、皆様におかれましては、本市の教育行政の推進に格別のご支援、ご協力を賜りますとともに、子どもたちの健全育成のため、多大なご尽力をいただいておりますことに、心から敬意と感謝の意を表す次第であります。</p> <p>さて、この総合教育会議につきましては、阿波市の未来を担う子どもたちはもちろん、すべての市民が生涯を通じて学び合い、その成果を活かし合える環境を充実し、豊かな人間形成につなげていくため、そうした教育政策のあり方・方向性を皆様と共用する場であると考えております。</p> <p>現在、深刻な人口減少問題に歯止めをかけ、地方への新しい流れをつくる、「地方創生」に向けた取り組みが全国各地で進められていることは、皆様もご承知のことと思います。</p> <p>本市におきましても、安田教育委員にもメンバーの一員としてご参加いただきました、有識者会議等において議論を重ね、先般 10 月に、「輝く阿波市に煌めく未来」と題した阿波市版の総合戦略を策定したところであります。</p> <p>この後、担当からも説明をさせていただきますが、今後は、この総合戦略に基づき、阿波市の人口ビジョンで示す将来展望に向けて、人口減少対策や地域経済活性化など、様々な事業に取り組むこととしております。特に、教育分野におきましては、若者が安心して家庭を築き、子どもを産み育てたいという希望を実現するために、すべての市民が、「子どもは、阿波市の将来を担う大切な存在である」という共通認識に立っていただき、地域全体で子育てや教育を支えていける環境整備を目標としております。</p> <p>今後、総合教育会議におきましても、このような視点のもと、皆様から様々なアイデアやご意見をいただきながら、さらなる教育環境の充実につなげてまいりたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>さて、本日の会議におきましては、阿波市で学ぶすべての児童生徒、また、すべての市民の基本的な教育指針となる「阿波市教育大綱」の策定について、皆様にご協議いただくこととしております。全国的な問題でもある「少子高齢化」や、社会情勢の急激な変化に対応できる「人づくり」、「人材育成」をより一層推進する「教育大</p>
-----------	---

	<p>綱」となりますよう、皆様の忌憚のないご意見・ご堤言をお聞かせいただけたらと思っております。</p> <p>本日は、限られた時間ではございますが、皆様の積極的なご議論により、本会議が実り多いものとなりますことをご期待申し上げ、開会にあたりましてのご挨拶とさせていただきます。</p> <p>本日はどうぞよろしくお願い申し上げます。</p> <p>本日の、第2回阿波市総合教育会議につきましては、香西文教厚生委員長さん、市管理職の皆さんをオブザーバーに迎え、開催できますことを大変ありがたく思っております。</p> <p>第一回の会議では、市長さんから阿波市の目指すべき将来像「あすに向かって人の花咲くやすらぎ空間、阿波市」についてお示しいただき、人を中心に据えて、人々が阿波市民が、輝くまちづくりをするんだ、人づくりが阿波市の基本理念である、とお話をいただきました。</p> <p>学校教育におきましても、人が変わろうとも、社会が変わろうとも、変わらぬ教育目標があります。それは人材の育成であり、「知・徳・体」のバランスのとれた力、すなわち、社会を生き抜く力の育成であります。</p> <p>本会議の話し合いを深める中でこうした教育目標達成の為には学校だけでなく、あらゆる関係者の相互の支援がなによりも大切であると、再認識をいたしました。</p> <p>私たちが、阿波市の教育の在り方はどうあるべきかをしっかりと示していかななくてはならない。しっかりと子どもたちを育てることによって、阿波市の未来が明るいものになる。そう考えております。そういう意味におきまして、この総合教育会議が果たす役割は大変大きいものがあると思っております。</p> <p>今回は教育に関する大綱の策定について、その他の議事がございます。どうか意義あるものになりますよう、どうぞよろしく願いいたします。</p>
坂東教育長	<p>さっそくですが、議事に入りたいと思います。議事の進行につきましては、市長の方で進めていただきたいと思いますのでよろしく願いいたします。</p>
後藤次長	<p>それではさっそくでございますけれども、次第に従いまして議事に</p>
市長	

<p>後藤次長</p>	<p>入っていきたいと思います。まず、議事の一番目、教育に関する大綱の策定についてであります。事務局の方から説明をお願いします。</p> <p>それでは、事務局の方から教育大綱の素案について説明をさせていただきます。よろしくお願いいたします。</p> <p>まず、配布しております資料の1ページ目をご覧くださいと思います。</p> <p>資料の1、「阿波市教育大綱（素案）」ということでお示しをさせていただきます。</p> <p>まず、前回の総合教育会議においても説明をさせていただいたところではありますが、教育大綱につきましては改正地方教育行政法の施行以降に策定するということが定められております。</p> <p>また、内容につきましても特に定めはなく自治体の判断により決定でき、詳細な施策を定めるものではないとされているところがございます。今回素案としてお示しをしております「阿波市教育大綱」につきましては、まず基本理念として阿波市の将来像として定めております「あすに向かって人の花咲く安らぎ空間、阿波市」となるよう、市の将来を担う人材育成を推進し、家庭、学校、地域が連携し、豊かな学習環境を充実し未来を切り開く力を身につける教育の実現を目指すとしたところがございます。</p> <p>次に、基本方針につきましては、「阿波市第一次教育振興計画」の教育ビジョンの基本目標であります「人が輝く・町が輝く・未来が輝く」この3点を基本におき、素案として8項目をお示しをしたところがございます。</p> <p>まず1点目の、「生きる力の育成」につきましては教育が持つ様々な学びを通し、社会を生き抜く力を育成する教育行政を目指すものがございます。</p> <p>次に2点目の、「家庭・地域の連携・融合」については、教育は学校だけではなく、家庭・地域が連携し、地域力も活用しながらにおいて子どもの育成を目指す事が必要であり、阿波市全体が教育の場となる事を目指すとしたところがございます。</p> <p>次に3点目の、「郷土を愛し、人権を尊重し、自立した人間形成」については、阿波市に誇りを持ち、周りの人を思いやることにより人として自立できる環境整備を図るものとしたところがございます。</p> <p>次に4点目、「特別支援教育の充実」については、国において平成</p>
-------------	---

市長	<p>19年度から特別支援教育を学校教育法に位置付け、全ての学校において障害のある幼児・児童・生徒の支援の指導の充実を進めている事を受け、盛り込んだものがございます。</p> <p>次に5点目、「生涯にわたって学習できる環境整備」については、全ての市民が生涯を通じていきいきと暮らし、いつでもどこでも学びたい時に学べる学習環境の整備を図るものとしております。</p> <p>次に、6点目の「誰もが気軽にできるスポーツ環境の整備」については、子どもから高齢者まで自分に適したスポーツの発見、体験ができ、体力向上及び交流ができる環境整備を図るものとしております。</p> <p>次に、7点目の「特色ある地域の歴史・文化・伝統の継承」につきましては、先人から引き継いだ、文化や伝統、また地域の歴史を学ぶことにより自分が住む地域の伝統を未来世代へ引き継ぐ環境整備を進めることとしております。</p> <p>次に、8点目の「地域の魅力を再認識し、情報発信できる人材育成」については、人口減少に歯止めをかけるため、阿波市の魅力を広く発信できる人材育成を進めることとしております。</p> <p>以上、8項目の基本方針について素案としてお示ししておりますが、各委員からのご意見を頂き、阿波市の教育大綱として策定したいと考えておりますのでよろしくお願いたします。</p> <p>なお、基本方針の詳細項目につきましては、簡単な説明とさせていただきますでしたが、この方針が決定次第、ホームページ上での公表をする予定としております。</p> <p>以上で阿波市教育大綱についての説明とさせていただきます。よろしくお願をいたします。</p> <p>はい、どうもありがとうございました。ただ今、事務局の方から阿波市の教育大綱素案の説明がありました。この説明の中で、基本理念と基本方針の8項目からなる基本方針の説明があったわけですが、この基本方針につきましては、お手元の第一の阿波市の総合計画の「わたしの阿波、未来プラン」と「阿波市第一次の教育振興計画」を相当吟味しながら、基本方針の8項目の素案をこしらえたというように伺っております。これにつきましてご意見をいただきたいと思っております。自由な発言で結構でございますので、どなたからでも発言をお願いしたいと思います。</p>
----	--

重清教育委員長	<p>すみません、よろしいでしょうか。最初にお礼を申し上げたいと思います。学校の環境につきましてですが、各学校 100%耐震構造も整いまして、子どもたちが安心・安全に楽しく学校に通っております。またそのうえ、今回学校における情報教育の推進によりまして 2 学期よりタブレットも整備していただきまして、学校教育といたしましてはより一層 I C Tを活用した授業を取り入れられて、大変子どもたちにわかりやすい授業とともに学力を向上させてくれるであろうと思います。</p> <p>また、そのうえ学校へのエアコンの設置につきましても数年以内にエアコンを設置してくださるとのことをお聞きしまして、ハード面では子どもたちが本当にしっかりと、学校の勉強に集中できるような環境を整えてくださるといことで、本当に市長さんまことにお世話になり、ありがとうございます。</p> <p>それでは、さきほどの基本方針につきまして、8 項目ありますが、教育振興計画に基づいた方針ということで、できましたらちょっと付け加えていただきたいことがあります。</p> <p>平成 18 年度から小学校全学年におきまして週 1 回英語活動を行っております。それで英語教育を継続し推進し国際感覚豊かな人材の育成に努めている、いま現在でございます。この、英語教育と先ほども申し上げましたタブレット等の I C T活用も阿波市としては特色ある取組であると思います。</p> <p>それと以前より食育にも力を入れて、学校教育でも栄養士さんも含めていろいろな取り組みをなされておりますが、昨年より野菜ソムリエさんの活躍によりまして、今年からはキッズ野菜ソムリエの育成にも力を入れてくださっております。小さいころからの農業体験によりまして地産地消による地域農業に目を向け発展を目指しておりますので、食育も含めこの 3 点をどこか基本方針の中に入れていただけたらありがたいと思っております。如何でしょうか。</p>
市長	<p>私が解説しなくとも重清委員さんからですね、ずいぶんとお褒めの言葉もいただきながらですね、いろいろな発言を頂きました。一応全員の方に発言をお願いして最終的に取りまとめていきたいなど考えておりますのでよろしく願います。みなさんいいでしょうか。</p>
安田教育委員	<p>失礼します。先ほどの市長さんのお言葉で、今、子どものみなら</p>

	<p>ず市民の生涯をかけて学べる環境をと、おっしゃっていただいて、全くその通りだなと思いました。教育委員もしておりますが、やっぱり生涯教育にも力を入れるべきだなとも思いました。その意味でも特色ある地域の歴史文化で伝統の継承なんかも、もっと取り組むべきだなとも思いました。</p> <p>重清さんが言ったご意見で、十分かなと思ったのですが、阿波市の特色としてやっぱりICT、タブレット端末を各学校に配布していただいて今その充実に努めているということが大きな特徴ではありますし、英語教育も他市に比べて先行して随分早くから取り組んでいただいております。また食育のキッズソムリエは今回10周年のイベントにもすごく活躍していただいて、野菜なんかもすごく楽しく売っていただいくなど、キッズソムリエさんが出てきたら、たくさん野菜を植えたいとか、子ども達にとってもすごくいい経験だったと思います。やっぱり食育なんかは伊沢小学校が一年間頑張っていて活動していただいたおかげで、市全体に広がっていったなというのがあります。やっぱりこれを継続しないのはとてももったいない事だと思いますので、阿波市の取り組みとして特徴としては前面に押し出していった方がいいのではないかと思います。4番の特別支援教育の充実っていうのがとても気になりまして、大きな基本方針の中の一項目として特別支援教育の充実というのを挙げていただいているのはとてもありがたいと思っております。各学校、特別支援のいる子どもさんがとても増えてきておりますし、先生方、子どもによって全然対応の仕方が違う、先生方もとてもご苦労なさっていますので、これからは基本方針に明記し力を入れていただけるということでとてもありがたいことだなと感謝しております。以上でございます。</p>
市長	はい。ありがとうございました。
庄野教育委員	<p>失礼します。この阿波市の教育大綱、家の方に持ってきていただいて読ませていただきました。「あすに向かって人の花咲くやすらぎ空間・阿波市」という市長さんが常におっしゃっているキャッチフレーズのもと人材育成が大切だということで非常に素晴らしいなと思っております。それに向けて教育の方をどうしていくかという基本方針を読ませていただきました。第一次教育振興計画の中に7つの項目があるのですが、それと重ね合わせてもほぼそれを網羅した</p>

	<p>ような形でここに示してあるので素晴らしい思っております。個々の事については先ほどから重清委員長さんがおっしゃっていたように個別課題についてはあまり入れてないことが多いのですが、特別支援教育の充実入れたのはそれだけやっぱり力を入れてやっていこうというあらわれでないかと受け止めました。それと同時にじゃあ他にもICTとか食育とか、英語教育とか、この特別支援教育と、同じような形でどこかに盛り込んでいただければありがたいかなと思いました。</p> <p>私、1回目の教育会議に参加してなかったのですが、ホームページを見て1回目の教育会議の内容を読ませていただきました。この阿波市教育大綱をこれから今年度中に出していくにつけて県の素案もちよっと見させていただいたのですが、まあ同じようにいろんなこと書いてあって、人材育成が県のほうも大切だということを見せていただきました。この最後の地域の魅力を再認識し情報発信できる人材育成をというのは、たぶん後から出てくる総合戦略の何ページにも亘るグローバル・グローバルな人材を育成するという意味でここを出たのではないかと思います。そういう人をつくっていく為にもこの教育大綱がしっかりその道になってこれから活動出来ればと思います。</p>
市長	はい。どうもありがとうございました。
森教育委員	<p>もう既にみなさんおっしゃっていただいたので、とにかく阿波市市長さんを中心に教育に力を入れてくださっているということで、非常に感謝しております。具体的な実践に移る為にどうするかというようなことで今回は教育大綱だったんですけれども、その中でこの案を示していただいているところを見たとき、先ほども話がありましたけども4番目の特別支援教育の充実のことをさらにというか特別に力を入れるとのことで、ここの8つの項目の中により並列的に並んでおりますけども、他のものより具体的な表現になっているのかなと。だからこれに力入れるとしても、他の項目の所と合わせてもう少し変えた表現の方がいいのではないのかな、という感想を持ちました。</p> <p>それから、2番目の所、先ほど話をしているときにですね、上の基本理念の中で学校・家庭・地域が一体となるとなっておりますのでその2のところも学校家庭地域の連合または連携ということで</p>



	<p>うかなという意見もありましたので、ついでに話させていただきたいと思います。</p> <p>それから、融合ていうのが、使ってるところもありますけども、それも先ほども言ったんですけども連携、協働、「協」は+に力が3つ、「働」は働くという、この言葉の方がよりぴったりの言葉なんじゃないかというような意見も出ておりましたので、ちょっと紹介させていただけたらなと思います。この8項目が並列的に並んでおるので、文章に表現するときに、その目標と、それに伴う手段、方策みたいなのと分けて、図みたいなんで表すとより分かりやすいものになるんじゃないかなと。これじゃ読む人がなんかこう全体的に読んだときに捉えにくいと。そんな気がしますので今後としてはそういうようなことも考えてもいいのかなという気がしております。以上です。</p>
市長	<p>はい。森教育委員さん、基本方針の1から8までの序列の問題もあるわけですか。</p>
森教育委員	<p>序列と言いますか、各項目を並列的に出していくという事はものすごく力入れてするんだぞと、というような意志があるのかなと、思われます。</p>
市長	<p>はい。わかりました。それでは最後に。</p>
坂東教育長	<p>はい。委員の皆さんと同じようになるんですけども基本理念に示されておりますように阿波市は人の花咲くやすらぎ空間の阿波市である。ひとりひとりの阿波市民が輝くまちづくりをする。</p> <p>じゃあその中で、子どもたちは阿波市の未来を託す子どもたちでありますので、しっかりと子どもたちに阿波市づくりを理解とか教育を深めていきたいという思いがあります。で、委員の皆さんからも話がありましたけどもせっかくするんですから、この人の花咲くやすらぎ空間の阿波市という大きなものが出て、これを受けて、下の基本方針にも「あ、阿波市らしいな。」「阿波市の匂いがするな。」と、匂いがするなというのはおかしいですけども、基本方針を見たら「あ、阿波市は、そういう取り組みをしているんだな。」ということがわかるようなものがあればいいかなと思います。そういうことって、先ほど阿波市が特に力入れている食育なり、英語教育なり、</p>

<p>市長</p>	<p>I C Tなり、そういう思いが入っていれば阿波市の匂いがするっていったらおかしいですけども、阿波市らしさのある基本方針になるんじゃないかなという感じがしております。</p> <p>はい。どうもありがとうございました。委員さんからいいお言葉を頂きました。それぞれの委員さんから、いま阿波市が子どもの教育の為に取り組んでいる政策ですかね。これについて非常に失礼な言い方なんですけど、しっかりと理解していただいていると、今わかりました。それが一番やっぱり嬉しいかなと。</p> <p>そのあとですね、ちょっと項目ごとにあがったのですが、「グローバルな人材」という言葉があがりましたね。これはひょっとして基本方針の中に、見てみるとですね、言葉として入っていないのかな、そんな気もいたしております。</p> <p>それからあと序列問題ではなくてですね、私が一番気にしているのは、教育長の方が発言していただいた基本理念ですかね、逆に言ったら教育大綱、阿波市の第一の総合計画のところでですかね。あるいは第一の教育振興計画、ここがしっかり頭に、今日出席してる方はわかっています。阿波市総合計画と、阿波市の教育振興計画。これをわかっているから、おそらく教育大綱がずっと、頭に入ってくるのかな、と思いました。</p> <p>しかし、一般の市民の方がですね、この教育大綱を見たときに、阿波市の総合計画、読み砕いてないし理解もしてない方もいると思います。</p> <p>あるいは教育振興計画も、もちろんそうですね。そのあたりのギャップがね、どうやって市民に説明出来るのかなと、この大綱だけでね。1枚のペーパーだけで出来るのだろうか、まあその辺りがちょっと心配になってます。本来から言うと、基本理念だけでいいんじゃないかという気もするんですね。基本方針もいらないよ。でもそうもいかないだろうという訳で8項目に分けて再分解したんですけども、さあこれで理解できるのかなあという面があるんじゃないか。で、とくにグローバルって言葉が出ましたよね。</p>
<p>庄野教育委員</p>	<p>グローバルと、グローカルと。</p>
<p>市長</p>	<p>その辺りでわたしもずっとこれを見てみてね、ちょっと気になった所ではあったんです。この辺りにつきましては、今頂きましたご</p>

<p>後藤次長</p>	<p>意見をもう一度事務局の方でしっかりと整理していただいて、それでもう一回皆さんに配布していただくという事をお願いしたいと。10分か15分で出来ますか？今の委員さんが発言していただいたことを整理できますか？</p> <p>もう少し具体的に言葉を選んでいただけたらありがたいですが、ちょっと事務局の方で整理をしてくださいと言われても、委員さんの思いをどこまでまとめる事が出来るのかということもありますので、できましたらこの会議の中で、ある一定のところの言葉のくくりをいただけたらと思います。先ほど、基本方針の2で家庭・地域のところで学校が抜けているということで学校を加えるという意見については入りたいと。</p> <p>それと融合については協働の方がいいのではないかというお話もございました。その部分についてお詰めをいただく、そしてICT、英語、食育についてもどのような方法でこちらの広報誌に折り込むのか、ただ単語でなく、できましたら言葉づかいまで、できたら会議の中でお決めに頂きたいと思いますので、申し訳ございませんがよろしくお願ひしたいと思います。</p>
<p>市長</p>	<p>委員さんどうでしょうか。もうすこし具体的に、言葉の中に入れるわけですが。例えば、2番目であつたらね、基本方針の2番だつて、「家庭・地域の連携・融合」ってありますよね。家庭・地域・これ今挨拶の中で、家庭・地域・市全体としてとかの言葉がね、言いましたよね、挨拶の中で。これ入れたらどうなるのかなって今思ったんですが。</p> <p>家庭と地域だけではないですよ。阿波市全体では何するのって、市全体が入ってないですよ。地域で終わっている。まあそういうような、例えば単語をね、入れてくれないかなって言ってるんですよ、具体的に。委員さんをお願いしたいなど。例えばの例ですよ。難しいなこれ。事務局そういうことでしょ？</p>
<p>後藤次長</p>	<p>はい。先ほども言いましたように、ICT、英語、についても表現としましては先ほどありましたグローバル、グローカル、まあグローバルな感覚と言うのか、国際感覚と言うのか、そういったところをどういうふうな表現にするのか。</p> <p>また食育につきましても、食育を通してどういう子どもを育てて</p>

	<p>いきたいのかという部分があるかと思います。ただ単に、食育の推進というような大綱にはならないかな、と思いますので、もう少し具体的に言葉としてお示しをしていただけたら事務局としてはとてもありがたいのですが。</p> <p>それと、８項目のお示しをさせていただいておりますが、この数については、別にこだわる必要はないのかなと考えておりますので、そこは協議の中で決定していただけたらと考えておりますが、よろしくお願ひしたいと思います。</p>
市長	<p>基本方針の、項目の数を増やすのは際限がないですよ。</p>
後藤次長	<p>そこについては…。</p>
市長	<p>だんだん、細部にわたって入って行くじゃないですか。だからこの、阿波市の第一の総合計画あるいは教育関係の振興計画、これらを全部読み砕いていったら全て入るのでは。</p> <p>ところが読み砕いてなかったら、なかなかこの基本方針の項目をいっぱい増やさないと、いけない。</p>
後藤次長	<p>はい。</p>
市長	<p>だからこの８項目の中で、だいたいおさまっているかっていうのを、逆にね、検討して頂いた方がいいんじゃないかな。キリがないと思う。難しいですよ。</p>
坂東教育長	<p>よろしいですか。一番最初に生きる力。これはまあ「知・徳・体」と言われておりますけれど、知・徳・体の基礎にあるのが食育であるということからですね、「知・徳・体」は食育を基盤とすることから食育が入ってこようかと思っております。</p> <p>それから、英語につきましては、項目が無いのですが、国際感覚豊かな人材、人づくりと、それで国際交流も英語教育も全て兼ねるということと国際感覚豊かな人づくり、そういうものがあれば、グローバルなことはできたのではないかと思います。</p> <p>ICTにつきましては「生きる力の育成」の中に入れてもいいのではないのかなと思っております。</p>
安田教育委員	<p>８番の「地域の魅力を再確認し、情報発信できる人材育成」なんか</p>

	<p>を変えて、ICTなんかも人材育成になると思うので、英語教育も人材育成ととらえて盛り込めないかと。</p>
庄野教育委員	<p>あまりにも細かく入れすぎるとキリが、際限が。</p>
市長	<p>際限がなくなる。</p>
庄野教育委員	<p>ポイントだけ押さえたほうがいいのではないかなと思います。細かい事はそのまたあとで。</p>
市長	<p>だから今ね、教育長がね「生きる力の育成」っていうところで、「知・徳・体・食育」。4つですよ。これほんとうにわかってる人だったら生きる力と合わし、子ども達に知・徳・体・食育だなんてわかるんですよ。生きる力ってほんと人によってみんな考え方が違いますよね。だから、我々関係者が聞かれたときにね、スッと答えられたらいいんですけどね。</p> <p>「生きる力」って言葉で言ったらほんと、その通りなんですよね。「知・徳・体・食育」。だから同じようなものの考え方ですよ。この8項目。どうやって取るか。安田委員さんが言われた、ICTなんて実際これ入ってないですよ。言葉としても。</p> <p>ところが阿波市は、すごく進んでいます。正直言って。だからこれはやっぱり地域の魅力、阿波市の教育の魅力として、どう表現するか、言葉で、この8項目の中に入れるか、あるいは追加するか。</p>
重清教育委員長	<p>特色として、阿波市の特色を入れるのであれば、今の言葉をこの中に入れられた方がいいのではないのでしょうか。</p>
市長	<p>市民はわかりやすいね。</p>
重清教育委員長	<p>はい。わかりやすいですね。</p>
安田教育委員	<p>食育は、でも、教育長さんがおっしゃった知・徳・体・食育っていうので。やっぱりこれ教育大綱なので、市の基本方針の中の教育なので、やっぱりそういう言葉も入れた方がやっぱり教育らしい。</p> <p>阿波市としての教育らしい基本方針だと思うので。誰もがわかりやすい。入れた方が阿波市らしさがでるのではと思うのですけれど。</p>

市長	そのような形で、すっところ、単語を入れていただけませんか。
安田教育委員	あの提案なんですけどよろしいですか。7番にね地域の魅力、7番に地域の歴史とか、文化の継承があるので、8番に地域の魅力を再確認じゃなくて、ここにICT、英語教育などにより情報発信できる人材育成というようなかんじで差し替えたらどうかなと。
重清教育委員長	総合戦略の21ページに、情報化や国際化社会で活躍出来る人材育成のこの、そこの前に安田さんがおっしゃったようなICTとか英語活動というのをに入れて8番のほうに入れたらどうでしょうか。
安田教育委員	基本方針としては8項目くらいが、とてもバランス良く、あの内容的にもすごくバランス良く作っていただいているとは思っていますので。この中に文を入れ込む形でいいとは思いますが。
市長	ただ今の基本理念と、8項目の基本方針については了解だと。あと、7番と8番と。
安田教育委員	3番にも郷土愛がありますので、8番は地域を外してICTと英語教育を入れていただいても。 7番の特色ある地域は3年生かなんかで阿波市探検なんかをしていただいて、すごく好評で。楽しいって子どもさんが、この前も言っていました。
庄野教育委員	すいません。またこの8項目の中にあるのが人材育成っていうか、人材育成とかそういうような育成面とソフト面とハード面、整理面も入ってます。環境整理とか。育成面を上を持ってきて、整理面を下を持ってきて、まとめておく方がわかりやすいのではないかと思います。
森教育委員	1番と3番と8番を上の方にまとめるってことですね。4番をもう少しよく考えれば。個々という個性に応じた生きる力の育成ということがこれからしていく教育。それを言い方を変えたとしたら生きる力ではないかなという捉え方ができますよね。
安田教育委員	個人的に4番は置いといていただきたい。

坂東教育長	<p>8番は、案ですけども、ICTと英語、言葉はなかなか直接入れるのは難しいので、情報教育の充実と国際感覚豊かな人材の育成で、どうでしょうか。そうしたらICTと英語も入っていると。</p> <p>コミュニケーションも英語教育の目標も入っていると思うんですが、で、人材の育成となったら庄野委員がおっしゃったように育成を上を持っていくというので3つ目くらいになるのかなあと思います。情報教育の充実と国際感覚豊かな人材の育成。</p>
後藤次長	<p>食育。生きる力の育成の部分での食育の入れかたなんですけど、先ほど「知・徳・体」の基本が食育であるというような…。</p>
坂東教育長	<p>そうですね、私の感覚だったら「知・徳・体」食育を中心とした生きる力の育成」そのほうがわかりやすい。</p>
安田教育委員	<p>生きる力って、ちょっと、大まかかなって。</p>
坂東教育長	<p>生きる力とは何なのってことだったらそれで分かります。</p>
市長	<p>例えば、3番の「郷土を愛し」ってあるでしょ。それから7番の「特色ある地域の歴史」とかあるじゃないですか。これ、8番の「地域の魅力を再認識」。なんかこの3つがね、3番と7番と8番がね、なんかこう一つにできないかな、という気がする。</p>
後藤次長	<p>それぞれの目的が違うので。</p>
市長	<p>3番の「郷土を愛し」、7番の「特色ある地域」、8番の「地域の魅力を再認識」。なんかここらが。二つくらいにならないかなあ。という発言でした。新たにICT、英語教育が入ってくるのかなと。</p>
後藤次長	<p>はい。8番の地域については、除けます。7番の特色ある地域の、これはやっぱり歴史文化っていう部分で外せない。3番につきましては、やはり人権を大事にするという部分。ここも、市としては力を入れていくべき項目という風に考えておりますので、郷土という言葉では言わせてはいただいたつもりです。</p> <p>ですので、8番につきましては先ほど言いましたように情報教育の充実と国際感覚豊かな人材という部分でくくらせていただきたいと</p>

	<p>思います。</p> <p>あと、文言としては2番には、学校・家庭・地域の連携・協働で、1番については今ちょっと協議をしているところなんですが、食育、生きる力っていうのが「知育・徳育・体育」に結びつくと言う事で、食育を推進することによって生きる力の育成、生きる力を「知・徳・体」という部分を外して、そのまま生きる力として括れば食育という言葉が前か後ろに入ってくるかなと。今の段階では、そこをまとめさせていただけたら、と思っております。</p>
市長	<p>1番の生きる力の育成が、市民が、見たときに、生きる力はいっぱいあるなど。だから教育長はね「知・徳・体・食」総合力は生きる力を具体的に入れたらどうかと言っていると思う。</p>
坂東教育長	<p>生きる力って言ったら「知・徳・体」なんです。それを、知も体も、支えるのはしっくりくる。食育が下にあってこそ、その上に3つある。生きる力と食育まで入れて言ってしまうと、ちょっと誤解が生まれるかなと。</p>
後藤次長	<p>ですからそこまでわかりやすく表現をすると知育・徳育・体育の生きる力を食育で支えるというようなちょっと長い文言になるのどこまで市民への説明を表現するのかという部分がちょっと難しい部分があるので、こちらでもまとめが、どうにかならないか、とは考えているんですが。</p>
市長	<p>生きる力、教育委員会の資料には生きる力「知・徳・体・食」と書いてます。</p>
後藤次長	<p>それは、第一次の教育振興計画に入っています。</p>
吉田教育次長	<p>入っていますけどそれが生きる力という表現のところに入っているのではなくて、夢を実現する基礎的な力が育つ環境作り、まあそれに「知・徳・体・食」が。</p>
	<p>～事務局まとめ作業～</p>



市長	事務局の方から再度説明をお願いいたします。
後藤次長	<p>それでは配布させていただきました修正点について説明をさせていただきますと思います。まず、基本理念の「明日」でございますが、漢字でしたので、これをひらがなで。基本理念の「あすに向かって」の「明日」はひらがなになっております。大変申し訳ございません。</p> <p>基本方針でございます。1番、「食育を基盤とし、知・徳・体の調和の取れた生き抜く力の育成」とさせていただいたところです。</p> <p>2番、「学校」を加えさせていただきました。そして最後が「協働」ということで。「学校・家庭・地域の連携・協働」。</p> <p>3番は修正ございません。4番「情報教育の充実と国際感覚豊かな人材育成」。そして人間形成等につきましては上の方にまとめさせていただきましたので4番、5番、6番、7番、8番が少し変わっております。</p> <p>あと、6番、「生涯にわたって学習できる環境づくり」ということで少し修正を加えさせていただいたところでございます。赤字の部分が修正を加えたということでもよろしくご協議のほどをお願いいたします。</p> <p>すいません。もう一点修正をお願いします。7番「誰もが気軽にできるスポーツ環境づくり」ということで修正の方お願いしたいと思います。以上の修正点につきましてのご意見等ご協議のほどよろしくをお願いをしたいと思います。</p>
市長	ただいま委員のみなさんのご意見を事務局の方で取りまとめて、配布されておりますように赤字が訂正の部分です。これにつきましてご意見ございませんか。
安田教育委員	言にくいのですが、「食育を基盤とし」じゃなくて、「基盤にした」という方が優しい言い方になるんじゃないかと思いますがどうですかね。せつかく下も「整備」じゃなくて「づくり」にしているので。「食育を基盤にした知・徳・体の調和」というような。「にした」のほうが優しい言い回しになるとは思いますけど。どうでしょう。
市長	今、安田委員さんから、基本方針の1、「食育を基盤にし、」じゃなくて、「基盤にした、」ということですね。

安田教育委員	はい。
市長	はい。それと、7番のスポーツ環境づくりですよね。整備じゃなくて。この基本方針について他にご意見ございませんか。
坂東教育長	はい。1番の案で「生き抜く力」といたしましたが一般的には「生きる力」こういうふうな解釈をされて。
市長	「生き抜く力」じゃなくて。
坂東教育長	いや、一般的には「生きる力」と言うのが多いんですが、阿波市はあえて「生き抜く力」としたという想いがこもっているという捉え方でどうでしょうか。
市長	強調したんですね。
坂東教育長	そうですね。一般の人だったら「あれこれ生きる力の育成」とか考える所だと思うんですが、阿波市はあえて「生き抜く力」というような強い言い方をしていると。
市長	他にご意見はないですか。よろしいですか。まだありますか。
安田教育委員	ありません。私はありません。
市長	森先生はないですかもう。
森教育委員	他にはありません。
市長	それでは、もう一度ですね大綱、非常に大切なことですので、事務局ですねもう一度朗読お願いして最終の確認をお願いします。
後藤次長	それでは朗読させていただきます。 ◇阿波市教育大綱 ・基本理念

	<p>「あすに向かって 人の花咲く やすらぎ空間・阿波市」の実現に向け、市の将来を担う人材育成を推進します。</p> <p>学校・家庭・地域が一体となり、豊かな学びの環境を充実し、子どもたちが伸び伸びと育ち、未来を切り拓く力を身につける教育の実現をめざします。</p> <p>・基本方針</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 食育を基盤にした、知・徳・体の調和のとれた生き抜く力の育成</li> <li>2 学校・家庭・地域の連携・協働</li> <li>3 郷土を愛し、人権を尊重し、自立した人間形成</li> <li>4 情報教育の充実と国際感覚豊かな人材育成</li> <li>5 特別支援教育の充実</li> <li>6 生涯にわたって学習できる環境づくり</li> <li>7 誰もが気軽にできるスポーツ環境づくり</li> <li>8 特色ある地域の歴史、文化、伝統の継承</li> </ol> <p>以上でございます。</p>
市長	<p>阿波市の教育大綱、基本理念と基本方針の8項目。これにつきまして、これでよろしいでしょうか。</p>
重清教育委員長	<p>はい、お願いいたします。</p>
市長	<p>ご意見ございませんようでしたので阿波市の教育大綱、今朗読されましたように、お手元の通り決定してよろしいですね。</p> <p>はい、ありがとうございました。それではこの通り、決定致したいと思います。ありがとうございました。</p> <p>続きまして、議題の（2）に入ります。「長期休業日の短縮について」を議題といたします。事務局よろしくお願ひします。</p>
高田教育次長	<p>失礼します。高田と申します。ここからは私の方から説明させていただきます。座って説明します。まず14ページをお開きください。</p> <p>本年度より阿波市内、小中学校において試行的に長期休業日の短縮を行いました。実施日は夏休み後半の4日間、また冬休みの1日の計5日間を予定し、夏休みの試行的実施が終わりました9月に全</p>

ての保護者、教職員対象にアンケート調査を行いました。そのアンケートの結果が 11 ページ、12 ページ、そして 13 ページとなっております。11 ページをご覧ください。ここは長期休業日のアンケートの保護者を対象とした調査結果でございます。アンケートの選択内容が①～⑤までございますが、その中の①～③がおおむね長期休業日に対して賛成というご意見でございます。

まず円グラフのところ見ていただきましたら、保護者（小）と書いてあるのはですね、小学校の保護者でございます。小学校の保護者につきましては①～③とおおむね賛成と回答していただいた方がですね 67%おりました。また中学校の保護者におきましては 64%の人がおおむね賛成していただいております。

なお、一番下のですね小中学校全体では 66%の人がおおむね賛成というご意見がございました。主な理由と致しましては、そこにはございませんが「生活リズムを整える期間となった」とか、また「学力を据えるためには授業時間数の確保は大事である」というようなご意見がございました。

続きまして 12 ページの方ご覧ください。わたしの説明は右側にも文章で書いてございますので合わせてみていただけたらと思います。ここは教職員に対するアンケートの集計結果でございます。教職員（小）っていうところは小学校の教員でございますが、小学校の教員は 69%の人が賛成していただいております。中学校の教職員につきましては 30%の人が賛成ということでございます。合わせて小中学校全体では 56%の人が賛成ということでご回答いただいております。

また、反対につきましては小学校の教職員の 15%ここで申しますと④のところでございますが、15%の人が反対しております。中学校の教職員は 46%が反対してございます。小中学校全体ではだいたい 25%の人が反対というようなことでございます。

今回のこのアンケートにつきましては賛成、反対というところの選択肢ではございますが、その理由を書く所がございません。しかし、最後に自由記述という欄を設けましてそれぞれのお考えを書いていただけたところございましたのでその主な理由を申し上げますと、反対の理由としましては「気温が高く、学習するような環境でない」と、回答した人が 23 人「学力が向上するとは思えない」と回答された人が 3 人でございました。

なお、保護者、教職員合わせて特に多かった意見と致しましては

	<p>「給食を実施してほしい」 240 名おりました。13 ページの下の方を見ていただいたら。また「エアコンを設置してほしい」という方も 155 人おりました。また「半日でなく 1 日の授業日にしてほしい」という人も 134 人。また授業日は教科の勉強をしてほしいという人も 18 人。また「長期休業日を短縮するよりも土曜授業をする方が良い」と回答した人も 75 人もいました。そのほかの意見といたしましては「午前中の授業が良い」とか、「短縮する目的がわからない」「夏休みの宿題が多い」というご意見もだいたい 10 人程度いたような状況でございます。このことから約 2/3 の保護者は長期休業日短縮について賛成しておりました。</p> <p>しかし実施するにあたっては、午前中だけの授業であれば小さいお子様のいる保護者や共稼ぎの保護者にとっては「昼食を準備しなければならず、昼食を希望する」という声が多かったというところ です。</p> <p>また熱い盛りの日に授業をするためにエアコンの設置をお願いしたいという人もたくさんいました。またその他にはですね「授業時間数の確保と学力向上の観点からは終日の授業の実施と強化合宿をしてほしい」という意見がたくさんございました。</p> <p>また、そのアンケートを受けまして 15 ページ目に次年度の案についてちょっとご提案させていただけたらなと思っております。</p> <p>長期休業日の短縮によって生みだす授業時間数を確保して参りたいと思っております。それによってより質の高い学校教育活動を展開できると思っております。また保護者の方からたくさんご意見がありました、短縮した 5 日間は給食を提供していきたいなと思っております。</p> <p>また長期休業日の短縮する日につきましては規則改正等もごさいますが夏休みがだいたい 7 日間短縮しますと土曜、日曜を除く 5 日間が授業日となりますので、だいたいそういった辺りをめどに短縮できたらなあと考えております。このことにつきまして、ご意見、またご指導いただければと思います。よろしくおねがいします。以上でございます。</p> <p>市長</p> <p>事務局の方から長期休業日の短縮について説明がありましたが、各委員さんのご意見をいただきたいと思っております。お願いします。</p> <p>坂東教育長</p> <p>今、ご覧いただきましたように保護者の方ではですね、6 割以上の</p>
--	--

	<p>人が小学校、中学校で賛成のお答えをいただいております。実施についての要望としては給食等々、エアコン等々の要望はございますけれども、まず今年度やってみて、いいだろうというお返事をいただいたのはありがたいことだと思います。</p> <p>阿波市の小学校中学校、それぞれの学校の学習状況を見ておりますと規定の授業時数の確保はできておりますけれどもやはりもう少し時間をかけたいという先生方のご希望もあります。</p> <p>これで実施になりますとですね約 30 時間となります。そうした時間を使って質の高いゆとりをもった学習の時間を取りたいという先生方もおいでます。そういった先生方の希望、それから保護者の方もやってほしいという希望がありますので、できたら来年度も実施をしてみたいなど。私は思っております。</p>
市長	<p>ちょっとよろしいですか。保護者の方が賛成だよってかたが多いんだよね。先生方はちょっとやっぱり時間をかけてという話ですか。試行じゃなくて、この長期休業日の短縮について。</p>
坂東教育長	<p>これは図では反対というので約 25 反対はあるんですけども、するのは賛成だけでも今のような環境の中では 6 時間するのは少し難しいかなあという意味での反対ではないかなと考えておりますが。環境整備の方が主な理由と思っておりますが。</p>
市長	<p>環境整備。</p>
坂東教育長	<p>例えば、昼から勉強しなさいって言っても昼からは健康の面からいってちょっと暑いのではないか。今のままだったら午前中でいいんじゃないかとか。</p> <p>いろんなことが考えられるのでまるまる賛成というようなご意見をいただけなかったかなと思っております。</p>
市長	<p>どちらともいえない先生は 19%もいますよね。ここら辺りが環境整備なんですかね。</p>
坂東教育長	<p>自由記述ですのでちょっとわかりかねます。</p>
市長	<p>わたしがなんでそんなことを聞くかって言ったらね。保護者の方</p>

<p>坂東教育長</p>	<p>は随分とこれはいい話だよって話ですよ。小学校が 67%かな。中学校が 69%が賛成だと。小中合わせて 66%の方が短縮が良いよって言ってますよね。</p> <p>先生方のアンケートは賛成が 59%か、反対がどういう理由の反対かわかりませんが 25%。どっちとも言えないが 19%。トータルで 44%の先生が反対に近いのかなどうなのかなって感じするんですよ。そのギャップをどうやって埋めるのかな。</p> <p>このアンケートは同時期にしましたので保護者の意向っていうのは先生方は知らずに先生は先生でアンケートに答えていただいています。ですが、こういったアンケート結果をみて、阿波市の保護者が何を望んでいるんだと。夏休みのね。阿波市の保護者も望んでいる子どもも望んでいる事を、それはもうやらないといけないという先生方の意識改革。それが必要だと思います。</p> <p>そういった保護者の声に応える教師でなければならぬと私は思っておりますのでこの保護者のアンケートというのは重く学校で受けとめるべきだと思っております。</p>
<p>市長</p>	<p>進行係だから意見は言わせていただくんですけどね、同時にやったから先生の正直な回答が出たと思うんですよ。教育長が言ってる本当にずらしたら、保護者の方がね 66%も高い比率で短縮して欲しいと言っている。それに同情して、先生も賛成が増える、それなんか良くないですよ。同時にやってるから先生のそっちの考え方が出てきた。逆に言うと先生が、44%の先生が反対、どちらとも言えないを回答したという事は、あんまりいい回答じゃないですよ。保護者の方がやりたいって言う前に先生方がね 70%、80%これは子どもの為だからやるよ、そういう風な話が出てくるはず。でないと嫌々子どもに短縮授業をやらしてもらおう方が良くない、と僕は思います。</p>
<p>森教育委員</p>	<p>先ほど話していたのは中学校の場合は午前中授業になって給食もないエアコンもない状態で授業するにもきついなあと。部活したければ生徒が弁当を持ってきてそれで午後の暑い盛りに部活をするようになる。そういうのが中学校の先生方、なおかつ部活もしている先生方の、自分がしたいなあというのと合致しなかったことがあるのでこういう不評なアンケート結果が出たんじゃないかなあと。い</p>

<p>坂東教育長</p>	<p>うことでないかと思うんですよ。</p> <p>中学校は、現実的に夏休み修了間際 3 日くらいは子どもを呼んでいます。既に午前中呼んで、いわゆる市中祭だの六稜祭だの文化祭を 9 月の初めにいたしますのでその練習も兼ねて最低 3 日間、ある学校は補充の勉強として 5 日間くらいですかね。現実にはやっぴりしているんですけど、昼からについては部活等をしていると思うんですけど。学校へ来ている実態はあります。</p>
<p>安田教育委員</p>	<p>先生の本音としてね、私は教員ではないので素人考えですがやっぱり事務職、先生と言えど事務職であって事務職の中でクーラーもない状況で仕事をしている人がいるとしたらそれは先生だけではないかなって思うんですよ。やっぱり市役所なんかは涼しい環境の中で仕事をされている。先生なんかも同じような事務職ではありますがクーラーのない中の環境で仕事をされている。本音としたら、夏暑いのに休めないのかって言うのがやっぱり本音ではないかなとは思いますが。今年 9 月のアンケートなので今年実施した環境として先生が答えを出したのは、今の状況ではこんなままではやっぱり学力も上がらないし、身にならないっていうのが本音のアンケートではないかとおもうんですよ。でもやっぱりその環境をじょじょに変えていけば、こうなれば子どもにとっても充実した勉強に、夏休みの勉強が充実したものになるんじゃないかって先生の出してきたご意見としてはやっぱり給食を取って普通の状態で一日授業する、夏休み以外の普通授業みたいな授業をするという形態であったり、やっぱりエアコンをつけていただけたら多少は涼しい環境の中で身につく様な授業ができるんじゃないかっていう答えを出されたっていうのがこのアンケート結果じゃないかって私は思ったんですよ。</p>
<p>市長</p>	<p>なるほど。</p>
<p>安田教育委員</p>	<p>だからエアコンがつけば別に勉強ができるんかって、必ずしもそうではないと思うのですが、たぶん今年の授業内容とか子どもたちの態度を見て、このままではやっぱり子どもにとっても身になってないんじゃないかなって先生が純粋な感想をもってあげた結果がこれじゃないかなって思いますので、やっぱり給食を出すなり環境を整えていけばもっともっと充実した夏休みの授業になるんじゃないかな</p>



庄野教育委員	<p>いかなってという結果がこれだと私は判断したんですよ。</p> <p>私も同じような意見です。市長さんが最初に保護者のアンケートの調査結果と教職員の結果が違うのではないかっておっしゃっていたんですが保護者のアンケートの賛成の意見全体が 66%いらっしゃいました。小学校の教職員の賛成が 69%。小学校だけに関したら教職員の方が賛成が多いんですね。また、保護者だから教職員だからって言うところでは無いと思います。どこが違うと言うと中学校の教職員の賛成が少なかった。この中学校の教職員の賛成が少なかった理由が先ほどおっしゃっていたように、給食が無くて、途中で帰らせてしまう。それとエアコンが無い状態での授業の内容が充実していないって点だと思います。だからそこを改善していけば非常に効果も表れるし、この賛成意見も出てくると思います。総合戦略の中で3年計画でエアコンを設置するというふうにあとで出てくると思うんですが、是非できれば来年、再来年、1,2年のうちにエアコンを設置していけば子どもたちが非常に充実した学習をできる、環境ができるんじゃないかなと私自身は思っております。</p>
市長	<p>はい。なるほど。</p>
安田教育委員	<p>よろしいですか。加えてですね今実際に小学校の授業なんかは既定の標準授業時数に達しているとはいっても朝の 15 分の学習をして、それを 3 日間して 45 分にしてそれで 1 時間授業と無理やりに授業時間を取ってるんですよ。15 分間の授業でプリントで漢字テストしたりね、そういうのだけで終わってしまうと思うんですよ。これからいざという説明に入ったときに 15 分で終わってしまうとかいう厳しい環境の中でね先生たちは授業時間を捻出しているのが実際のところなんですよ。やっぱり 5 日程度を夏休みなんかでも取っていただいたらより今まで説明しきれなかったとか、それからやっぱりどうしても授業が遅れていた子なんかに対してもね、手厚い授業なんかを計画していただけるという期待はあります。</p>
重清教育委員長	<p>私も保護者の側から考えますと、小学校・中学校とも、できるだけ子どもには勉強を、しっかりと学力を向上させたいという親の気持ちがあると思うんです。そのうえで、エアコンを取りつけていた</p>

	<p>だいたり給食があるといったら本当にありがたいし、子どもたちの学力も向上するであろうと私は思います。ですので、今の保護者の気持ちとしては 66%の方が賛成していらっしゃるというのは親の子供に対する思いがあつてのパーセンテージでなかろうかと思えます。それとまた教職員の賛成、反対ですが、中学校の教職員は子ども達の側に立ってのアンケートの結果も含まれているのではなかろうかと思うんです。暑い中、集中力を欠いた中で勉強して、果たして自分が一生懸命教えている内容が子どもたちに理解できているだろうかという気持ちを考えた方もいらっしゃるのではないのでしょうか。</p> <p>我々も学校訪問を 6 月、7 月にさせていただいておりますと、本当に暑い中、子どもたちが扇風機はかけていただいているのですが、これは大変だなと思い、一生懸命勉強に取り組んでいる姿を見ておりますと、今回エアコンを設置していただけるというのは本当にありがたい話であつて 1 日でも早く設置が実現致し、給食を実施していただきますと、こういうパーセンテージが逆に、かなり上がるのではないかと思いますので先生方も保護者の方も思いは同じであると思えます。本当に学習指導要領で子ども達に指導する内容がかなり増えておりまして、それで時間は決められた中でおっしゃったようにモジュールという 15 分間で指導をしていくというのは、かなり学力差も子ども達にありますので、理解できる子は理解できる。わからない子はそのままわからないまま置いていかれるという状況になります。できましたら休業日を短縮して時間を取っていただけるのであれば、ゆとりと質の高い、教育長さんがおっしゃった授業が可能になるのではなかろうかと思えますので、できましたら 1 日も早いエアコンの実現と給食をしていただけるということでお願いしたいと思います。</p>
市長	はい。他にご意見ございませんか。森委員さんどうですか。
森教育委員	今年度学力向上の為に非常勤の講師とそれを指導する体制を作つていただいておりますので、現場の方からは非常に効果があつていいのではないかと。好評のように聞いておりますので、来年からも是非ともお願いしたいと思っております。以上です。
市長	進行する立場、長期休業日短縮ということで、保護者と先生方の

	<p>ですね、アンケート結果が若干違いがあるのかなって言いましたね。</p> <p>もう一点、委員様からは非常に貴重なご意見いただきました。長期休業日短縮についてはですね、クーラーあるいは給食をやってほしいという意見なんです。で、ちょっと失礼なんですけど12ページ開けていただけますか。この中でね、中ほどから下に円グラフに特に多かった意見がありますね。保護者の意見ですよ。先生ではないですよ？保護者の意見ですよ？</p>
高田教育次長	両方入っております。
市長	<p>見てみましたらね、特に多かった意見としては、給食を実施してほしい。240人なんです。保護者だけの1,997人の回答とした場合にね、給食実施が240人いる結果が出てますね。これ率で言ったら11%ですよ。だから教職員含めると2,233人になります。となるとですね、教職員含めると給食実施してほしいというのが10.7%になります。1割。</p> <p>次に、エアコンを設置してほしいは155人。保護者だけと捉えるなら7.8%。保護者と先生と捉えたら6.9%。7%なんです。委員さんが言ってるね、意見と、アンケートが違うんですね。結果は。もう1回言いますよ。給食を実施してほしい人が240人で10.7%。エアコンを設置してほしいというのが6.9%なんです。これをどう捉えるか。</p>
庄野教育委員	これたぶん記述式で、自由記述で全員が書いてない。
市長	書くときと書くまいとね、アンケートはアンケートなんです。
庄野教育委員	選択式のようにして、いくつ選択しても構いませんっていうような形ですと多分ほとんどの方が入れるんじゃないかなと。
市長	<p>だからその辺りのギャップ、こうして出てくると事実をこう見るとこのとおりに取らなきゃしょうがないじゃないですかね。現実の話と実際の話が違うんじゃないかって気もするんですよ。</p> <p>なんでわたしこういうこと言うかって言うとね、毎年、8月かな教育長。あの、阿波警察署と阿波市と、教育委員会でね、中学生の防犯陸上競技大会ってあります。4中学からすごい子どもたちが参加し</p>

てまいります。もうほんとに暑い。みんな来てもらって表彰状渡すんですよ。本当に暑い。

でもね、中学生ってすごいですよ。あのポカリスウェット球場、おそらく暑いとき 40 度を超えているんじゃないですかね、風がないと。女子でも男子でも 800m 走るんですよ。あのグラウンドの中を。子ども達ってどういう体力してるのかなって。まさに生きる力、たくましい力。表彰状渡す方は日陰でね、表彰のときに渡すんですよ。もう汗だらだら、子どもは知らん顔している。なんで子どもってこんなに力あるんだらう。10 年間で熱中症でひっくり返った子 1 人もいない。じゃあなんでやろうな。いまだに僕の頭の中ではね、本当にこんなのかなって。エアコンにしたって給食にしたって。本当はどうなのかなあって。

だからいつも教育長とも条件付けているんですよ。エアコンは付けるよ、でもね、保護者もしっかり、前日のNHKのテレビでも観てね、新聞でもいいよ。「明日は暑いよ 33℃だよ。」ちょっと子どもに一言ね「今日は暑いからね。」とか薄着にさせたり、冷たいお茶を持たすとかさ、先生も授業の前に 10 秒でいいから「今日は暑いからね、ちょっとでも暑かったらみんな手を挙げてね。」とか、その一言が欲しい。本当に僕は防犯陸上競技大会で、ほんとに感心しました。

あれは 33℃や 34℃じゃないですよ。誰か教育委員さん来ました？防犯陸上競技大会、中学校の。ポカリスウェット球場でやっている。誰も来てないでしょ。もう本当すごいですからね。40 度、ほんとあれカンカン照りの中。一度ね、そういう経験もしてください。どれだけの子どもがね、ほんとに差があるか。

吉野のサッカー場あるじゃないですか。支所の隣に。あそこだって陸上やっていますよ。練習で。もうどろどろですよ。ひっくり返る子 1 人もいない。その差が大きすぎる。保護者さんもしっかり自分の子どもがポカリスウェット球場で走ってなくても行ってね、観る、あるいは少年野球の、しょっちゅう阿波球場でやっているじゃないですか。もうすごいです本当。小学校の 1 年生や 2 年生がやっています。ああいうの観ると本当に感動しますよ。なんで子どもはこんなにも違うのかな。ほんと現場を観てください。僕もしょっちゅう観にいらいますからね。よくわかる。

だから歴代の教育長はエアコンみんな反対だったよね。反対じゃないけど、頼むからみんなでとにかく家庭で、地域でみんなで寄ってたかってたくましい子どもを育てようよって言ってます。だから、

	<p>大事にしなきゃいけないこのアンケート。給食を実施してほしい。2,233人の中で10.7%。エアコンを設置してほしい、155人。2,233人の中で6.9%。どんなアンケートか知りませんがアンケートはアンケート。しっかりとこの辺りも認識してですね、やっぱり冷静に対応していく。お金が惜しいんじゃないんですよ。僕たちでしたい。でもしっかり本当の心が欲しい。真実が聞きたい。あらゆる小学生のね、少年野球やっている。あるいはポカリスウェット球場で真夏の暑いときにトラックを700m、800m走っている。手を挙げてゴールしてるんですよ。テープ切っている。ああいう姿をやっぱり観てほしい。教育委員さん。そこなんですよ。現場をしっかりと観てほしいなど、思います。この議題は僕がこんなこと言いましたけれども、そんなところでね、あとご意見ございませんか。長期休業日の短縮について。もう何かありませんか。</p>
<p>森教育委員</p>	<p>P T Aの方からエアコンの設置についての陳情書を前いただいたんですけども。P T Aの方はたぶんこういう少ない数字を基にP T A会長さんあるいはP T Aの方が陳情書みたいなものを作りましたよかってことになったんでしょうかね。わたしそこら辺は全く確認してないし市長さんが体を鍛えているんじゃないかっておっしゃる気持ちもよくわかるんですけども、P T Aから観て保護者の方はいたいエアコン設置の方向で求めているのかなと感じたんですけども。</p>
<p>市長</p>	<p>だから、P T Aの会長さんは全員秘書人事課へきてくれました。要望書、陳情書を持って。今僕は言った通り、言っていますからね。みんな下向かず、上向きましょう。ということはね、P T Aの会長さんだってね、要望書は来るんだけど、ポカリスウェット球場でやっている子ども、少年野球で一生懸命やっている子ども。吉野の球場で陸上競技一生懸命堀北先生がやっているのに参加している子ども、現場観てない。恐らく。だからそこなんですよ大事なことは。僕は全部観てるから。少年野球だってね牟岐の方から三好の方からみんな来るじゃないですか。70チーム、80チーム来るんですよ。3日間します。5つくらいの球場で。僕始球式ね、やるんですから。それはすごいですよ。県下からみんな来ますからね。でも、言ってますけど保護者以外はだれも来てない。僕は全部確認しますからね。もちろんうちの職員も来ていません。行っているのは僕だけ。これ</p>

<p>安田教育委員</p>	<p>は間違いない。</p> <p>保護者の中にはPTAの会長さんもおいでですね、子どもさんがバスケットされていますので総体のお世話から全部行ってるわけなんです。市長さんとはお会いしないとは思いますが、わたしも子どもが野球しておりましたし、PTAのときはだいたいの試合に顔を出しておりました。今はポカリスウェットスタジアムは誘いもなかったので出かけてはおりませんが、これからは観ていきたいとは思っておりますが保護者からの要望でエアコンがあったのは、数を見ますとほぼ100%に近い学校の保護者の方の要望書を取りまとめて一枚のPTA連合会からの要望書として秘書人事課の方にお持ちしていますので、少ない数ではないと思います。ただ、このアンケートの結果としてこれは重く受け止めなければいけません、ここに例えば自由意見としてあがっているのが何人として、これを参考にするのであればもともとの項目の中で何が必要かって項目をつくってなければ参考にならないと思うんですよね。そもそもアンケートを取るときに自由意見としては出してきているとは思いますがアンケートを取るので最初から「エアコンの設置はどう思いますか」とか「給食をすれば賛成ですか反対ですか」というような意見を本当は入れておかなければ正しい保護者のご意見を聞いたわけではない</p>
<p>市長</p>	<p>確かにこのアンケートのタイトルは「長期休業日短縮について」ですけれども、アンケートのエアコンと給食、入ってる事は間違いない。親としてね本当に子どもを思う心が強いなら一字一句残さずにアンケートに答えなければいけない。だから今、安田委員さんが言ってる事は通らないのでは。隅から隅までしっかりとまじめに読んで、それでアンケートに答える。僕はそういう答えが出てくると見えていますからね。</p> <p>あともう一点、ついでに言いますけども、例えば防犯少年競技大会。ポカリスウェット球場で暑い最中にやっています。</p> <p>教育委員会でも、気をつけてもらいたいのはできるだけ役職持っている方、教育委員さんとかね、あるいはPTAの会長さんとか。そういう人に連絡してあげてください。してあげてない多分。連絡してないから知らないから来れない。だからこれは連携プレーが悪いんですよ。だからさっきの教育大綱、これだってしっかり連携し</p>

	<p>ないと本当に学校・家庭・地域の連携・協働って書いてるじゃないですか。これが実行できるかどうか。現場を見たらすぐにわかる。「野崎市長めんどいけど本当のこと言っているな。」ってすぐわかります。花のイベントにはいっぱい来るんだけどね。教育に関しては誰も来ない。悲しい。だから役職持ってる人は真剣にやっぴりね、できる事はして、行動しなきゃいけないです。部長にもいつも言っているんですよ。来てないよって。そこが大事。こういう場合せっかく話をしているとき、日本人は言わないです。反論を必ず。論議をしちゃだめ。議論をしなきゃ。必ず相手が言ったことに対して反論する。反論して意見交換を言いあって、そしてみんなが伸びていく。</p> <p>そういうほうが、運営の力が一番大事だと思ってます。正直きつい事言いますけどね、本当にいやらしく言ってんじゃないことだけはわかってください。本当に自分が思っている真実だけを言ってます。そんなところです。私ばかりが進行係が長引かせてしまって申し訳ないんですが、あとこの長期休業日に関しましてご意見無かったらですね、この通り動くんですね。</p>
高田教育次長	はい。
市長	<p>よろしいですか。はい、それではですね、この案の通り実行することに決定したいと思います。ありがとうございました。</p> <p>続きましてですね、3番目の議題、阿波市の総合戦略についてを議題と致したいと思います。</p>
後藤次長	<p>失礼します。わたしのほうから総合戦略についての概要を説明させていただきたいと思います。既に教育委員会で総合戦略の概要についてはご覧頂いていると思います。作成した定義等についてご説明させていただくと共にその総合戦略の基本の考え方等のみご説明させていただきたいと思いますのでよろしくおねがいしたいと思います。座って説明をさせていただきます。</p> <p>まず、阿波市の人口ビジョンについてございます。資料のページ等についてはもうあえて指示しませんので私の方の説明だけをお聞きいただいたらと思います。この人口ビジョンにつきましては昨年、国立社会保障人口問題研究所によりまして人口の推計値が登録されたところでございます。平成 72 年までの人口推計値、阿波市におきましては平成 27 年で 37,006 人であったものが平成 72 年では半分の</p>

17,327人というところまで人口減少が進むということで公表されたところでございます。国におきましてはこういったことを受け平成72年には人口1億人を目指すということで地方創生の様々な事業に取り組むことと聞いたところでございます。また徳島県におきましても平成72年度の人口目標を60万人から65万人というようなところで定めております。阿波市におきましてもこの人口ビジョンにつきましても国・県を参酌して地方が定めるとされております。ということを受けまして徳島県を60万人を参考に、現時点でのパーセンテージを出しまして3万人を確保するというようなところを示しさせていただいたところでございます。この3万人を維持する為の総合戦略ということで様々な事業展開をすることと想うところでございます。

この総合戦略につきましては、阿波市のまち・ひと・しごと創生本部、これは市の組織でございます。本部を設置し有識者会議、これは様々な階層の方からのご意見を頂くというようなところでの有識者会議。そしてまた阿波市の若手職員によりますワーキンググループ、また市内中学生の生徒会役員さんの意見交換。また市議会でのご意見を頂くなど、様々な方からのご意見をいただいたものを取りまとめたものが総合戦略として策定をさせていただいたところでございます。そういったご意見をもとに人口減少を止めるための事業をどのように進めるのかということで先月10月に「輝く阿波市にきらめく未来、阿波市総合戦略」を作成したところでございます。この戦略につきましては国が定めております4つの基本目標、

- 1点目が「新しい人の流れづくり」
- 2点目が「地域における仕事づくり」
- 3点目が「結婚・出産子育ての希望を叶える」
- 4点目が「活力ある暮らしやすい地域づくり」

ということで、国が定めた基本目標を参考に県においても定めておりますし阿波市においてもこの4つの基本目標をもとに今後5年間で実施をする事業を盛り込んだところでございます。阿波市の総合戦略につきましては3つのキーワードがございます。

「農業」

「子育て」

「安心・安全」

この3つを阿波市の強みとして重点的に組織を展開させていくとしており、また合わせて健康・スポーツ・学び屋など、そういったキ



	<p>ワードとしての阿波市の魅力を一層高めていくというような取り組みとしておるところでございます。既にご覧頂いておることと申しておりますので、詳しく内容については説明の方は省略させていただきます。</p> <p>今後におきまして、それぞれの各年による受ける事業をどういうふうに展開していくのか、それはまた市の各担当部・課の方で選別をして事業展開をしていくというような状況でございます。効果的、効率的な事業を進める、そのためにどのようにするのか。また、国の交付金、市の財政状況も考慮しながら事業を計画的に進めることとしておるところでございます。</p> <p>この戦略につきましては、先ほど 5 年間と申しましたが、毎年見直しをすることも可能でございます。総合教育会議におきましてもこの戦略についてのご意見を賜る機会を設けていきたいというふうにも考えておりますので、様々な角度からご意見が頂けたらと思っております。</p> <p>なお、この事業につきましては毎年有識者会議において事業の検証をすることとしております。この事業が適切に行われたのか、次年度この事業が必要あるのか無いのか。そういったところまで詰めた検証をしながらこの総合戦略の事業を今後進めていくこととしております。そういった中でどこまで人口減少が止められるか定かではございませんがこういった様々な事業を展開することによって阿波市の魅力を全国に認めてもらいそして全国の中で阿波市が光る、そういった選ばれる、また阿波市に来ていただく、そういった市となるよう努力していくこととしておりますのでよろしくお願いをしたいと思います。概略のみの説明ではございますが以上で総合戦略についての説明とさせていただきます。よろしくお願いいたします。</p>
市長	<p>はい。ありがとうございました。事務局からですねこのお手元の阿波市人口ビジョン、あるいは「輝く阿波市にきらめく未来、阿波市総合戦略」これをお配りしてございますけれどもこれにつきましては阿波市の総合戦略会議、3回だったんですかね。</p>
後藤次長	<p>はい。</p>
市長	<p>検討しましてですね、この案が仕上がりました。10月22日に完了しております。今現在、ホームページ上で公開しております。ホ</p>

	<p>ームページじゃなくてお手元の資料を再度一読していただきたい。</p> <p>本日の大綱ですかね、いろいろしっかり議論されたことを、今言いましたようなクーラーの問題とか給食の問題とか子育て関係のことなど随分と充実しそうな 5 年間でできるような計画となっておりますね。しっかり熟読してもらって、また後日ですね何かの機会でご意見を伺いたいなと思っております。</p>
後藤次長	<p>いや、今日お配りさせていただいたのは、今お手元にある資料なんですけど、以前教育委員会の方でもこれについてはご説明をいただいておりますと聞いておりますので。</p>
市長	<p>教育関係の相当新しい事業が増えておりますので、もう一度掘り下げてご意見をいただきたいと思います。特にこの件につきましてご意見ございませんか。</p>
庄野教育委員	<p>この前、徳島新聞に県内に移住 322 人という項目で、県外から各市町村に移り住んできた人の調査を載せていたのを見たんですが、県外から自らの意思で移り住んできた人の人数っていうんで見ていてほとんどの市町村が県外から移り住んで来ていたと思うんですが、阿波市はどうかとちょっと気にかかって。何人くらい来ているんですか。</p>
市長	<p>この辺りデータ的には今集計していますか。</p>
後藤次長	<p>すいません。正確なデータとしては市民課の方で拾う以外ないと考えています。ただ、企画総務課では空き家を活用した移住の事業を行っております。現在、本年度、阿波市にある空き家に移住された方は 2 組でございます。県外から阿波市の方に移住されている方はもう少し数は多いと思います。というのも賃貸とかそういった形での移住されている方がおりますのでそこまでは、私の企画総務課では把握ができておりません。多分市民課の方で転入者の数を拾っておりますので、そちらでまとめてデータとしては出てくると考えております。以上でございます。</p>
市長	<p>ただ、知っている限りでは、例えば観光協会ができてからまだ間もないですよ。事務局長は土成の女性の方なんですけど、これはU</p>

重清教育委員長	<p>ターンのかたです。あと女性の方が 4 人。あと男性が 1 人いるのかな。全部 I ターンのかたです。阿波市の市民じゃない、徳島県人じゃないのかな。</p> <p>ただね、我々が反省しなきゃいけないのはどっぷり浸かってますでしょ阿波市で。気が付かないものがいっぱいあります。だから観光協会の極端に言ったら 6 人、よそから来ています。凄いですよ。我々の気が付かない所がしっかりわかる。やっぱりはたから見てるとわかるんでしょう。全然動き違う。しょっちゅう付き合いをやっています、イベントも。恐らくわかると思います。違う、やり方が。まるっきり違います。なんでここまで同じ人でありながら、僕らは子どもの時から生まれて時からどっぷりつかってなんにもわからない。不思議なものです。</p> <p>先ほど県外から来られた方とのことで、私の近所の小学校に放課後学習で参加させていただいているのですが、その中で保護者の方で協力してくださって放課後学習にボランティアでこられている方のお話を聞いたのですが、宮城の方から 4 年前に震災で阿波市の林に来られたということをお聞きしました。何度かお会いしていましたが、この間初めてお聞きしたのですが、全く知らない阿波市阿波町に来られたとのことです。ご主人とお子さん 2 人の 4 人で来られたとのことで、こちらにこられてどうですかとお聞きしましたら、本当に周りの方がお優しいのと、食事、お野菜も何でもおいしいです。地域の方がすごくあたたかく受け入れてくださってくれるので本当に住みやすい、それとお母さんもすごく学校に熱心でいろいろな方々とコミュニケーションを取られて一生懸命に熱心に自分から参加してくださっています。</p> <p>やっぱり我々受け入れ側としても地域の方々のその人たちに対するコミュニケーションがしっかり取れないといけないなあと思いました。自治会のアンケートでも他の町なのですが、わたしもよそから来たんですけどもちょっと入りづらい、地域の方に溶け込みにくい、グループが出来ているみたいで私たちも入りたいんだけどなかなか入れないという現状が多く、見たときにやっぱり周りの受け入れ態勢が、自治会でもそうですが、ちょっと声かけをすとか、学校関係であると保護者の交流が持てるような環境づくりというのがすごく大切ではないと思いました。</p>
---------	---

<p>市長</p>	<p>聞いてますとね、入って来てね、いいんだけどもなんか知らないけど、裏表が田舎にはあるんじゃないですかとかね。そういうふうな疑心暗鬼がありますね。言ってる事と裏とが違うんじゃないかとかね。特に都会から来た人とかはね。田舎は親切だっていうんだけども本当なのかなっていう首ひねるところを感じてるようですね。それと、収入がしっかり安定しない。阿波市へ来て農業をしようと思うんですけど、なかなか農業って時間がかかるじゃないですか。技術が出来るまで。その間は食べていけないですね。そこら辺りを定着するまでに我々がどうやって支援すればいいのか。</p> <p>親切だけではいけないですからね。学校関係者でよく言われるのは田舎の人は親切だっていうけれど、そうかなあって言う人も結構います。子どもって言うのはかわいいなあって言うけど、やること残酷な事を平気でするとかね。そういうのが潜んでいるんですよ。我々がしっかりそこらを見届けなければいけない。表裏がある。性根が悪くなるとかではないけども、やっぱり恨みますよね。発言なんかでも結構つくんですよ。そういうことも一緒。</p> <p>よく例に出すのがコップを子どもに描いてって言ったら、まん丸の絵を描く子もいたり。長方形をそのまま描くとか。そういう子いるんですよ。先生は「コップ描けていったのにどうしてまん丸なの。」って「僕は上から見ました。」でも先生もコップはこういう風に描くってイメージがあるんですよ。その違いがあるんです。</p> <p>だから決めてかかっちゃ絶対いけない。特に子どもはね。大人もそうですよ。だからいろんな方向から見ていいところだけを探してあげればいいんですよ。そうすれば相手は安心する。なかなかそれが出来ない。</p> <p>日開谷にね、たくさんのIターンの方いるんですよ。毎年焼肉のパーティーやったり、花見をやってます。年間2回くらいやって僕も毎回行くんですけどね。その時にね、ふるさと阿波市、日開谷にと思っているんですよ。ところが土地が無いしねあそこは、住みつけない1~2ヶ月いて職場を求めて徳島に転勤しちゃうんですよ。ところが徳島ではふるさとにならない。やっぱり日開谷がふるさとなんです。そういう方が随分とおります。でも阿波市には定住しないよね。お金が入らない。でもふるさとであることは間違いない。いっぱい来てますもんね。だから参加してね。</p> <p>アフリカに行ってる夫婦なんてもうほんとに子ども知恵ありますよ。火起こすたって焼肉焼くたって、このくらいの子どもが両手使</p>
-----------	--

<p>後藤次長</p>	<p>って焼肉やりますからね。火を燃やすのもうまい。どこで習ったかと言えばアフリカのギニアにお父さんと行っていましたとかね。放浪の旅やっていますから生活の強さ。さっきも食育とか言ってたじゃないですか。そんなもんじゃない。もう全然違う。知・徳・体なんて彼らにかかったら踏み躪られますよ。本当凄いですよ。あんな子ども見てたら本当に教育大綱なんてなんなのっていう。生き様が凄いですね。とんでもない子どもたちがいます。だから僕ら逆に言ったら甘ったれているなあっていう気がしてるところあります。</p> <p>はい。今日の議題ですけど相当な時間かけて熱心に議論いただきました。議論の(1)、(2)、(3)、ですかね。これにつきましてトータル的にご意見が無ければですね、これで閉じたいと思います。よろしいでしょうか。失礼なことをです。進行係ということでやらせていただきましたけどご勘弁をいただきたいと思います。今日はご苦労様でした。ありがとうございました。</p> <p>大綱のできた分を配布させていただきたいと思いますのでよろしくお願いたしたいと思います。これでホームページの方に掲載をさせていただきます。公表するという事。それでは長時間に渡りましてご協力いただきまして誠にありがとうございます。以上をもちまして第二回の阿波市総合教育会議終了とさせていただきます。ありがとうございます。</p>
-------------	--